



藤本 みのる 通信

Vol 223

2016年4月12日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

地域医療を守ろうとの強い意気込み

地域医療を守るシンポジウムと講演のつどいが開催され、私も勉強のために関わりました。2025年を見据え、県の地域医療構想に向けて、県内の医療関係者が実行委員会で集会を準備しました。事務局、呼びかけ人、後援団体ともに、山梨県の医療人を代表する方々であり、地域医療を守ろうとの強い意気込みが感じられました。

その中で、大月病院の進藤院長がパネラーとして登場し、地域医療の現状と課題を話され、今後の本市での取り組み方向が示されました。進藤院長は、「病院だけでは見えなかったものが、2年前から多職種で地域医療連携推進会議をするようになって、在宅医療を行う医院や介護入所施設が不足していることが見えてきた。地域の医療ニーズに応えるため、本院では急性期病棟を148→88床に減らすとともに、回復期病棟を0→31床に、療養病棟を40→52床に増やすことにした。訪問診療についても、意欲的な看護師がいるので、9月の回復期病棟開棟と合わせて検討していきたい」と話されました。中央病院が地域医療の大黒柱なのだという自負を感じることができました。



講演 邊見公雄氏

全国自治体病院協議会会長

シンポジウム

岩瀬史明氏

県中救命救急センター長

藤井充氏

県峡東保健所所長

進藤廣成氏

大月市立中央病院院長

長田忠大氏

長田在宅クリニック院長

【藤本みのる活動日誌】

4月 7日(木) 臨時全員協議会(短大校舎建設計画)

4月 8日(金) 街頭演説(参院比例予定候補とともに)

4月 9日(土) 地域医療を守るシンポジウムと講演のつどい(甲府市内)